

エコな建材で注目

張り替え不要の壁紙、新聞紙の断熱材

石油系の原料を使わず廃棄物減らす

新築やリフォームの際に出る膨大な建設資材の廃棄物。ごみを減らし、再利用することが求められる折、剥がさずに上から塗り替えができる壁紙、新聞紙から作る断熱材など、石油系の原料を使わず廃棄物をできるだけ出さない、エコな建材が注目されている。

劣化しても上塗りができる

市場の大半を占めるビニールクロスは一般的に表面がビニール、裏面が紙でできている。価格が手頃で扱いやすいが、張り替えるたびにごみが出る上、新たな壁紙を生産す



塗料を繰り返し塗って使える壁紙「エコフリース」＝東京都内

るために資源とエネルギーを要する。

建築資材販売のナガイ（飯田市）は2016年、パルプなどを主な材料にし、ポリエステルを加えて強化した不織布に塗装を施した「エコフリース」を開発した。商品は、無塗装の壁紙とパールホワイト、ローズピンクなど淡い色を中心に10色のフラットタイプ、白系2色の凹凸のあるエ

ンボスタイプがある。エコフリースの特徴は、劣化しても剥がす必要がなく、自分で水性塗料を使って上塗りできる点。同社インテリア事業部営業担当の小澤傑さんは「摩擦や衝撃に強く、通気性が良く、結露やカビの発生を抑えます」と説明する。伐採、管理が行われている森林に由来する製品を示すFSC（森林管理協議会認証）も取得済みだ。

断熱機能優れるセルローズファイバー

暑さ、寒さを防ぐ断熱材の分野では、新聞紙をリサイクルして作るセルローズファイバー（木質繊維）がある。セ



ルローズファイバーのメーカー、デコス（山口県下関市）は新聞紙80%にホウ酸、ホウ砂、はつ水剤を加えた断熱材「デコスファイバー」を生産。セルローズファイバーの中に空気の膜ができるため熱や音が伝わりにくくなり、高い断熱性能を持つ。難燃性で湿度調整する機能にも優れている。

11年には建築用断熱材として初めてカーボンフットプリント（CFP）プログラムの認定も取得した。CFPとは原材料の調達から廃棄、リサイクルまで全行程で排出される温室効果ガスの量を二酸化炭素に換算して表示する仕組みを指す。

一般的断熱材と比べ、ガラス素材のグラスウールなど無機繊維系、ウレタンフォームなどの発泡プラスチック系などが多い。セルローズファイバーのシェアは市場の3%程度にすぎないが、「自然素材を利用する工務店からの注文が多い」（田所憲一東京オフィス所長）という。16年には熊



原料の80%に新聞紙を利用したセルローズファイバーの断熱材。これを外壁と内壁の間に吹き込む。埼玉県飯能市のデコス関東工場

本地震の木造仮設住宅563戸に採用されるなど、公共施設での需要も期待されている。

お片付け

宮嶋万輝代



宮嶋万輝代（みやじま・まきよ）辰野町有線放送でアナウンサーとして働きながら整理収納アドバイザー1級の資格を取得。退職後は同2級認定講師、各種研修や講座を開催。家庭や企業の整理収納を手掛ける。同町在住。

生活習慣を持っているという

私自身、15年くらい前までは「いっぱい持っていないと不安で、安心するために、たくさん物を買ってきた

る」と気づき、少しずつ生活習慣を変えてきました。

物が少ない生活も当たり前になってしまえば本当に快適です。「物が無くて安心してきる自分」への自信や信頼感

くなったときは具体的にどのようにする?…このようなことを、瞬間的に考え、確認する癖が付いているのです。

また、一番気楽な物の減らし方は、好きな物を使い切っ

捨てるのが迷う物、捨てる方がわからない物を手放してみる

も増えてうれしくなります。

物を減らす習慣を持っている人は家の中に物を入れる（買う、もらうなど）ことに

対して、とても慎重です。物が増えることのデメリットをよく知っているのです。だから、買っても本当に使い切れるのか、本当に好きなのか、置き場所に余裕があるのか、家族も喜ぶ物なのか、いらな



キッチンの調味料を整理収納した様子です

物が増えにくい生活習慣を持つ

り、もらってきたりして、毎日、多くの物とどのようにしたらストレスなく過ごせるか、整理収納方法の研究ばかりしていました。整理収納のことを研究すればするほど、物は多いより少ない方が「暮らしやすい」「ストレスの総量は減る」「時間、お金、労力が圧倒的にかからない」「安心で安全で自由な自分になれ

「シンプルお片づけ」ホームページ <http://www.simple-okataduke.com/>